

北関東 防衛局 広報

2026.3
Vol.
126

目次 -CONTENS-

- 2 第56回防衛問題セミナーを開催（埼玉県入間市）
- 3 防衛大臣感謝状、北関東防衛局長感謝状の贈呈
- 4 （東京都）昭島市 市民総合交流拠点施設 開館式典
- 5 （群馬県）榛東村 防災中枢機能施設 完成記念式典
- 6 施設整備工事に関する意見交換会
- 7 令和7年度自衛隊部隊研修（陸自習志野駐屯地）
- 8 わが町紹介 ～千葉県木更津市～
- 9 事務所だより ～小笠原出張所～
- 10 北関東防衛局からのお知らせ・お願い
 - ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
 - ・ドローンの規制についてのお知らせ
 - ・米軍の飛行場周辺における建造物等の設置について
 - ・在日米軍従業員募集



おがさわら丸とブリーチングするザトウクジラ（写真提供：小笠原村観光局）

第56回防衛問題セミナーを開催

令和8年2月3日、埼玉県入間市(入間市産業文化センター)において、防衛問題セミナーを開催しました。

防衛問題セミナーは、防衛政策や自衛隊の活動などについて、国民の皆様のご理解を深めていただくために、平成19年度から開催しており、今回は第56回となります。

今回のセミナーは「大規模自然災害への備え～入間基地の役割と地域防災の在り方～」をテーマとして、入間基地及び入間病院の災害時の役割や防災教育の在り方について、入間市の後援を得て開催しました。

当日は、加藤北関東防衛局次長の主催者挨拶の後、第1部では航空自衛隊入間基地司令の杉山公俊空将補から「大規模震災に対する入間基地の備え」について、第2部では東京大学大学院情報学環の片田敏孝特任教授から「荒ぶる自然災害に向かい合い命を守る防災を考える」について講演していただきました。

参加者の中には、第1部では入間基地の機能や装備品の説明に興味深げな方や、第2部では防災教育の大切さに大きくうなずかれる方もいらっしゃいました。



加藤北関東防衛局次長の挨拶



杉山入間基地司令のご講演



片田特任教授のご講演

講演後、参加者からの質問に対しても分かりやすく回答していただき、アンケートでは「災害派遣での実績、大規模災害時の入間基地の役割・備えについて、大変わかりやすく理解できた」「防災は命の教育」にとっても納得した、「改めて、いかに自然災害等に対して判断を行政任せにしていることを痛感した。家族でしっかり話し合い、災害時の行動について決めたいと思う」など、多くのご意見・ご感想を頂戴することができ、好評なセミナーとなりました。



会場の様子

なお、当局のホームページにセミナーの概要等を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

北関東防衛局 H P



令和7年度 防衛大臣感謝状の伝達および 北関東防衛局長感謝状の贈呈

防衛省では、例年、11月1日の自衛隊記念日にあたり、防衛省・自衛隊の活動や事務の遂行に多大な貢献をされた方に対し、その謝意を表すため感謝状を贈呈しています。

防衛大臣感謝状伝達（木更津市）

○木更津市

令和7年12月11日、木更津市役所において、池田北関東防衛局長から千葉県木更津市に対し、防衛大臣感謝状を伝達しました。

木更津市は、陸上自衛隊木更津駐屯地をはじめとする陸海空の防衛施設を抱える自治体として、永年にわたり防衛施設の安定的な運用に多大な貢献をされ、とりわけ陸上自衛隊V-22オスプレイの暫定配備に格別のご協力をいただいたことから今般の贈呈に至ったものです。



（左から、池田局長、渡辺市長）

局長感謝状贈呈（狭山市長、昭島市長）

○狭山市長

令和7年12月15日、狭山市役所において、池田北関東防衛局長から小谷野狭山市長に対し、感謝状を贈呈しました。

小谷野市長は、平成27年7月27日に狭山市長に就任され（令和5年7月3期目当選）、航空自衛隊入間基地を抱える自治体の長として、防衛行政にご理解とご協力をいただくとともに、住民の皆様の理解の促進に努められるなど、同基地の安定的な運用に多大な貢献をされたことから、これまでのご功勞に対し、感謝の意を表したものです。



（左から、小谷野市長、池田局長）

○昭島市長

令和7年12月19日、昭島市役所において、池田北関東防衛局長から臼井昭島市長に対し、感謝状を贈呈しました。

臼井市長は、平成28年10月21日に昭島市長に就任され（令和6年10月3期目当選）、横田飛行場を抱える自治体の長として、我が国の国防の基軸となる日米同盟の重要性及び防衛行政に対する深い造詣のもと、住民の皆様の理解の増進に尽力されるとともに、防衛施設の安定的な運用に多大な貢献をされたことから、これまでのご功勞に対し、感謝の意を表したものです。



（左から、臼井市長、池田局長）

防衛施設周辺の環境整備事業（東京都昭島市）

イーストテラス・サブスリーの開館を市民とともに祝う会開会式の開催

東京都昭島市において市民総合交流拠点施設が完成し、令和7年11月22日に「イーストテラス・サブスリーの開館を市民とともに祝う会開会式」が開催されました。当局からは池田局長が出席し、関係者の皆様とともに開催を祝いました。当日は、地元の子どもたちによる植樹式のほか、完成した施設の内覧会やワークショップも行われました。



【交付金の概要】

○施設整備

規模構造：RC造3階建

延床面積：約2,000㎡

補助対象事業費：約12億84百万円

交付金（基金）：約9億14百万円

事業内容：図書館分館、
会議室、キッズ
コーナー等

○備品購入

補助対象事業費：約37百万円

交付金：約35百万円

事業内容：テーブル、チェア、
映像設備等

本施設は、老朽化した施設の建て替えに合わせ、周辺施設の複合化と機能の集約を図り、新たに市民図書館分館を設置することで、様々な人に交流の場を提供する「交流拠点」として整備されました。地震災害に強い免震構造や地中熱を利用した空調設備を採用するなど、災害時や環境に配慮した施設となっています。

当事業は、防衛施設（横田飛行場）と周辺地域（昭島市）との調和を図る目的で、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第9条に基づく特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して実施されました。今後は、交流の場として多くの方に活用されることを期待しております。

当局といたしましては、今後とも防衛施設周辺にお住まいの皆様方の生活の安定と福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



握手を交わす池田局長（右）と昭島市長



●中央通路●
地中熱を利用した空調設備を採用



●キッズコーナー●
児童書コーナーや遊具を設置

防衛施設周辺の環境整備事業（群馬県榛東村）

榛東村防災中枢機能施設の完成記念式典の開催

令和7年12月20日、群馬県榛東村主催の「しんとぴあ・学校給食センター」の完成記念式典が開催され、南榛東村長を始め、当局からは池田局長、緒方企画部長らが出席し、関係の皆様とともに施設の完成をお祝いしました。



この施設は、学びや交流の場としての公民館（しんとぴあ）と、幼稚園・学校へ給食を提供する学校給食センターを備えた新たな複合施設で、災害時には防災拠点として地域を守り、応急給食が提供可能な設備を備えています。

当局は、榛東村内に陸上自衛隊相馬原飛行場等が所在し、ヘリコプターや機動戦闘車の訓練など当該防衛施設の運用により、住民生活やまちづくりに大きな影響を与えている状況を鑑み、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条の規定に基づく、まちづくり支援事業として令和2年度から令和7年度にかけて整備費用の一部を補助しました。また、施設に必要な給食備品等の購入には、同法9条の特定防衛施設周辺整備調整交付金（約80百万円）が活用されています。



【学校給食センター】～調理室～



【テープカット】



【公民館】～みんなの広場～

（左端に池田局長、左から3番目が南村長、右端に小倉相馬原駐屯地司令）

防衛施設を安定的に運用するためには、地元の皆様方のご理解とご協力が不可欠であるものと考え、今後とも各種施策の実施に取り組んでまいります。

施設整備工事に関する意見交換会を開催

令和7年12月5日、さいたま新都心合同庁舎1号館2F講堂（埼玉県さいたま市）において、自衛隊の施設を建設または改修する施設整備工事に関する意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、北関東防衛局及び部隊等の関係者が一堂に会し、局からの施設整備工事に関する情報提供や部隊等からの意見を聞くなどして、相互の連携強化を図り、今後の業務を円滑に遂行するための資とすることを目的としており、当局含め47機関、約152名の方々が来場されました。



北関東防衛局
池田局長



東部方面総監部
菅原施設課長



『令和7年度の執行等について』
北関東防衛局調達部調達計画課 和久課長

当日は、北関東防衛局池田局長が開会の挨拶を行った後、2部構成で意見交換会を実施しました。

第1部では、和久調達計画課長など各担当課長から、当局の施設整備の執行等に係る情報提供。第2部では、施設整備全般に関する事項について情報提供を行い、東部方面総監部からは川住1尉より、体制移行に係る施設整備について発表を行い、当局と各部隊等の参加者との活発な意見交換を実施しました。

最後に、東部方面総監部菅原施設課長から全体を通しての所見を頂き、今後の施設整備工事を実施する上で、今後の課題を明確にするなど有意義な意見交換会を実施することができました。



『体制移行に係る施設整備について』
東部方面総監部
建設幹部 川住1尉

令和7年度自衛隊部隊研修（陸上自衛隊 習志野駐屯地）

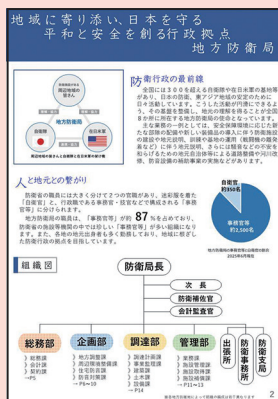
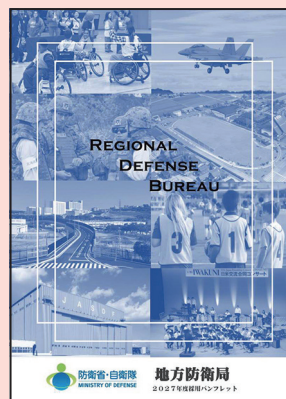
北関東防衛局では、毎年、新規採用職員の見学感覚向上のため、自衛隊施設等に赴き、知識・見識を深め、地方防衛局の職務内容との関連を理解させることで、じ後の業務に生かすことを目的に現地研修を行っています。

令和8年1月、令和7年度採用職員を対象に「陸上自衛隊 習志野駐屯地」の支援を得て、部隊研修を行いました。本研修では、習志野駐屯地の歴史、災害派遣を含む部隊の諸活動の紹介など部隊広報担当からの説明を受け、陸上自衛隊の活動について理解を深めたところです。

研修に参加した若年職員は、習志野の歴史や精鋭部隊である第1空挺団の概況を学び、実際に空挺降下をする際の装備を試着しましたが、余りの重さに立って踏ん張るのがやっとでした。「精鋭」を肌で感じる事ができた一日になりました。



習志野駐屯地「空挺館」前にて集合写真



防衛省のホームページでは、地方防衛局の採用パンフレット他、防衛省の各機関の紹介などがあります。

防衛の行政拠点である「地方防衛局」について、ご紹介させていただきます。





木更津市マスコット
キャラクター
きさぽん

魅力あふれる創造都市きさらづ

江戸時代から港町として栄えてきた木更津市は、千葉県の中西部、東京湾に面しており、沿岸部には東京湾最大級の自然干潟（盤洲干潟）が広がり、内陸部には緑豊かな上総丘陵などの自然に恵まれた「都心から一番近い田舎」として多くの人を惹きつけています。

また、本市は、都心まで約40分でアクセスできる交通利便性の高さから、東京湾アクアラインの着岸地の金田地区においては、日本一の店舗数を誇る三井アウトレットパーク木更津やコストコホールセール木更津倉庫店などの企業立地が進展しており、千葉県の新たな玄関口として賑わいを見せています。



未来につながるまち

木更津オーガニックシティフェスティバル2025



オーガニックなまちづくり

木更津市では、「オーガニック」を、「持続可能な未来を創るため、地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする考え方」と捉え、これをまちづくりの視点として、人と自然が調和した持続可能な都市を構築し、次世代に継承しようとする「オーガニックなまちづくり」を推進しています。

※「オーガニック(organic)」は、「有機」や「有機的な」と訳され、人間の体のように一つ一つの細胞がつながりあって、バランス良く連携・補完しあい、全体を形成している様子を意味します。この様子は「まち」のあり方に通じ、一人ひとりが自立し、つながり、循環しながら、まちを形成していくことです。

学校給食に有機米

オーガニックなまちづくりの取り組みの一つとして、市内生産者の協力を得て、農薬・化学肥料を一切使用しない環境にやさしい栽培方法により生産したお米、「きさらづ学校給食米®」を市内公立小中学校の学校給食に提供し、環境に配慮した食育をはじめ、農業振興、地産地消を推進しています。

※令和6年度は、米飯給食153日中96日（62.7%）の提供率となっており、米飯提供日100%有機米を目指しています。



サッカー場（オーエンズスポーツフィールド）



防衛施設周辺対策事業

O-ENCE SPORTS FIELD（江川総合運動場）は、周辺財産の利活用を目的として、昭和57年4月からスポーツ・レクリエーション施設として親しまれていましたが、さらなる施設の充実を図るため、民生安定施設整備事業補助金を活用し、陸上競技場・野球場・サッカー場の整備を行いました。

また、各施設の備品整備に際しては、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用しています。

「母島」は、小笠原出張所が所在する「父島」から南へ約 50 km に位置し、東京竹芝桟橋からおがさわら丸で父島二見港まで約 24 時間、さらに、ははじま丸で母島沖港まで約 2 時間の合計約 26 時間を要することから、日本一遠い島と呼ばれています。また、「ボニンブルー」と呼ばれる美しい海と深い森があり、大陸と一度も陸続きになったことがない自然豊かな島です。さらに、人が定住する場所として日本一早い初日の出を拝むことができます。

自然について

母島を含む小笠原諸島は、東洋のガラパゴスと呼ばれ固有の動植物が生息する手付かずの自然が魅力です。

ハハジマメグロ(小笠原村の鳥)は、母島列島(母島、姉島、妹島等)のみ生息する特別天然記念物で、島内至る場所で見ることができます。

タコノキ(小笠原村の木)は固有種で、母島の民芸品としてタコノキの葉を使ったタコノ葉細工があります。集落にある民俗歴史資料館「ローズ記念館」ではタコノ葉細工の展示のほか、実際に細工体験をすることができます。

海ではカツオドリ、イルカ、クジラ等を見ることができます。特にクジラは5月～11月にマッコウクジラ、12月～翌年4月にザトウクジラとホエールウォッチングを楽しむことができます。ちなみに、日本のホエールウォッチングは小笠原村が発祥の地とされ、昭和63年4月に小笠原諸島返還20周年記念事業の一環として母島で行われました。



ははじま丸(別名:ホエールライナー)

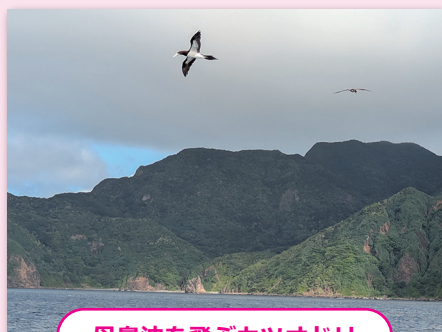
交通について

母島は公共交通機関がないため、レンタカー、レンタバイク、レンタサイクル、乗合タクシーを利用することとなります。(東京から約1,000 km離れていますが車のナンバーは「品川」です)。

また、幹線道路は東京都道241号線が南北に約14 km縦断しています。南端は都道最南端の看板がありさらに南崎や小富士(郷土富士)へのハイキングコースが続いています。一方、北端はかつて北村集落があり北港を中心に栄えていましたが、戦時中の強制疎開により集落は無人となりました。現在はガジュマルの木々で覆われ、北港の桟橋跡や北村小学校跡が当時の面影を残しています。

訪島について

母島は父島経由が必須のいわゆる二次離島であり、本土からの観光客は父島とあわせて来島するケースが多いため、小笠原村の滞在期間はおがさわら丸の運航を考慮すると概ね10日を見た方がよろしいかと思われます。また、小笠原村は環境保全の観点からキャンプ等の野営行為が条例で禁止されているため、宿泊は事前予約をし、さらに、ははじま丸の乗下船時は外来種を持ち込まないよう靴底を洗浄する必要があります。



母島沖を飛ぶカツオドリ



ローズ記念館



都道最南端

北関東防衛局からのお知らせ・お願い

レーザー光線の航空機への照射は 犯罪^(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で 飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので **決して行わないで下さい。**



■レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

照射している人を見かけた方は
110番通報 をお願いいたします。

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。

刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金) 航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年1月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

防衛省、外務省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課 連絡調整室
(東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄)
防衛省本省 地方協力局 在日米軍協力課

(代表) 048-600-1800
(内線:2226.2236.2237)

(直通) 03-5362-4851

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている**自衛隊施設／米軍施設**その**周辺地域**(周囲約300m)の上空における**ドローン**等の飛行は、**原則として禁止**されています。

これに違反した場合、次のような措置／罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年／罰金50万円

周囲おおむね300mの地域の上空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設／米軍施設の敷地・区域の上空(レッド・ゾーン)



※このほか、**航空法**上の無人航空機の飛行禁止空域においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、**国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。**

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続の詳細については、防衛省HPをご参照ください。

<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



防衛省・外務省・警察庁・国土交通省

お問い合わせ先

防衛省 北関東防衛局 企画部 地方調整課 連絡調整室
【代表】048-600-1800 (内線:2226.2236.2237)

米軍の飛行場周辺における 建造物等の設置について

航空機が安全に離着陸するためには、飛行場周辺の一定の空間を、障害物のない状態にしておくことが重要です。

米軍の飛行場周辺において、建造物等の設置を計画されている方は、北関東防衛局へお問い合わせください。

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記にご連絡願います。

(横田飛行場関連)

北関東防衛局横田防衛事務所 (代表)042-551-0319

(木更津飛行場関連)

北関東防衛局千葉防衛事務所 (代表)043-221-3541



在日米軍従業員募集

独立行政法人駐留軍等労働者

労務管理機構【エルモ】では、

在日米軍基地で勤務する従業員

員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。

下記の支部にお問い合わせください。

ださい。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用下さい。



【X(旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報(エルモ) @LMO_recruit」

X(旧Twitter)



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理二係

住所: 〒196-0014

東京都昭島市代官山2-4-4 昭島昭和第2ビル4階

電話: 042-542-7663

担当施設: 横田飛行場、ニューサンノーマンセンター、赤坂プレス・センター他

<https://www.lmo.go.jp>

L M O 検索

エルモ
ホームページ



求人情報
本州・九州の
基地



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/event-katsudo/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報 検索

広報紙
バックナンバー

